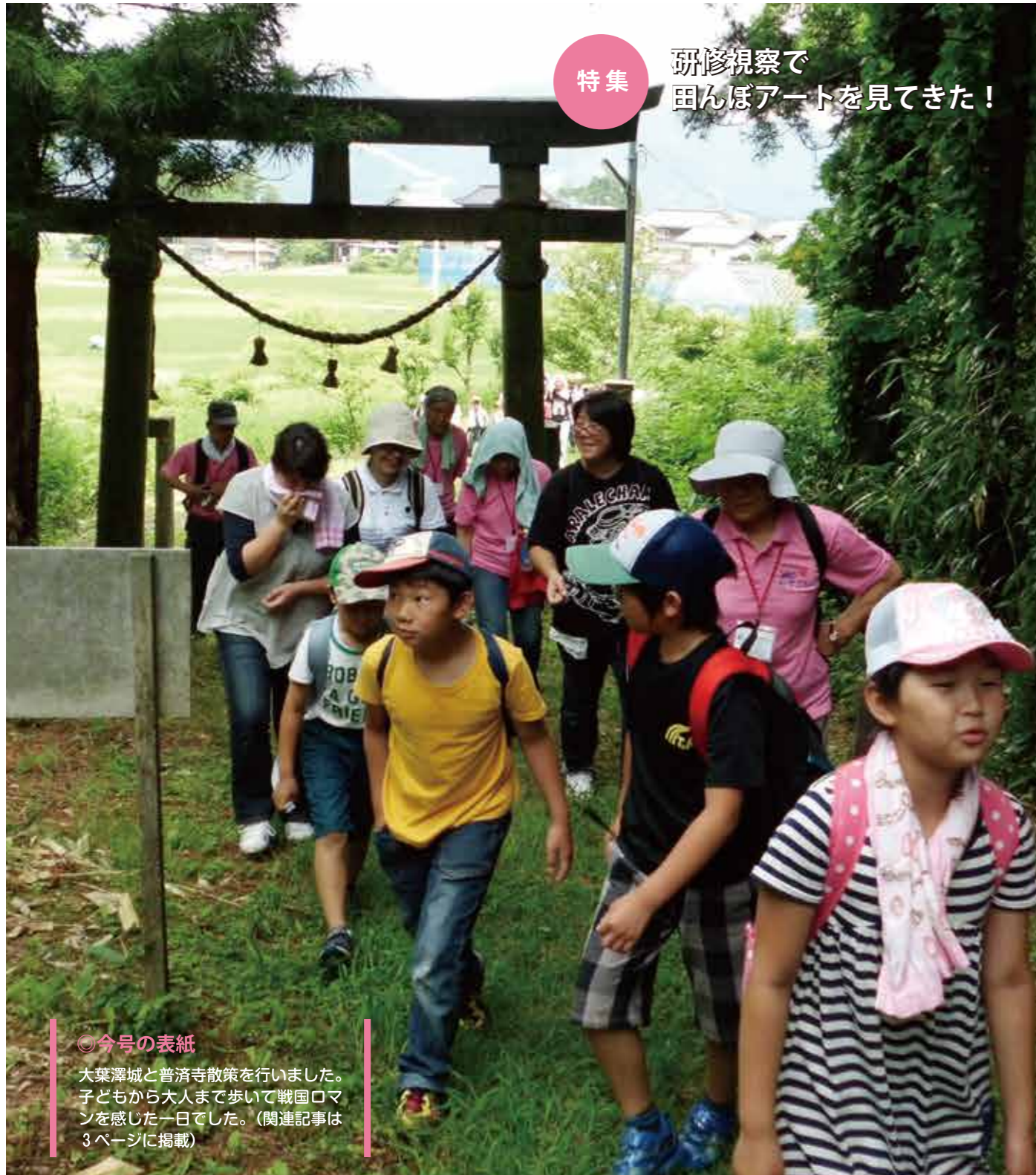


# たてこし

館腰地域まちづくり通信

vol. 16  
2016.9.15 発行

生きがいとふれあいに満ちた心豊かな暮らしのあるまち 館腰



特集

研修視察で  
国んぼアートを見てきた!

◎今号の表紙

大葉澤城と普濟寺散策を行いました。子どもから大人まで歩いて戦国ロマンを感じた一日でした。(関連記事は3ページに掲載)

## 地域の行事

- 9月
- 21日: 歩き遠足 (小川小)
  - 28日: 館腰保育園運動会
- 10月
- 7日: マラソン大会 (小川小)
  - 7日: あいさつ運動
  - 15日: 展覧会、餅つき大会 (小川小)
  - 19日: お神楽 (熊登)
  - 23日: あさひまつり
  - 29日: 朝日中学校文化祭
  - 30日: 収穫祭 (古渡路)
  - 下旬: 収穫祭 (熊登)
- 11月
- 3日: 朝日駅伝大会
  - 10日: あいさつ運動
  - 20日: 敬老会 (大場沢)
  - 27日: 付き合い餅 (釜杭)
  - 下旬: お宮様夜ごもり (下新保)



※予定は変更になる事があります

# 秋

用の資格ももっており、「今年の冬はブルドーザーに乗って除雪にチャレンジしたい」と力強く語る一方、昔からカエルと虫が苦手で、農業をやる決心した時は、「そこまで考えていなかった」と苦笑い。

重労働も多く、また作業工程で「やり直しがきかないのが大変」と語る夢果さん。「毎日、簡単にご飯を食べていたけど苦労とありがたさを知った」とも。まだまだ覚えることは多いが、「ひとりですることができるようにしたい」と意欲的です。自分が手掛けて作ったお米は「やっぱりおいしい」と笑顔の夢果さん。自分も夢果さんの作ったお米を是非味わいたいです。(高橋慎)



すまいるリレー!!  
地域で頑張っている人を紹介します。⑧

本間夢果さん (あけほ)



祖父(岩崩)の稲作を手伝って3年目を迎えています。

「人と違ったことをやってみたかった」と話す夢果さん。高校卒業後、「まずは1年間やってみないか」と祖父に誘われ始めた農業も、今では大型特殊の免許を取得し、代かきに田植え、稲刈りなど一連の機械作業もこなしています。

「大きい乗り物が好き」だそう、除雪作業

## あさひまつり開催!

日時 10月23日(日)  
場所 朝日みどりの里

太鼓集団「鼓童」公演、朝日奈ゆう歌謡ショー、地元保育園児の発表会、カボチャ料理の試食・販売、郷土料理の販売、軽トラ市等による各種地域産物の販売など。

○まちづくり協議会では、軽トラ市と郷土料理販売で協力します。



インフォメーション

## 地域づくり自慢大会で発表しました!

8月11日、市内全域を対象にした「地域づくり自慢大会」で、館腰地域まちづくり協議会は、朝日地区を代表して「軽トラ市」の取り組みを発表しました。軽トラ市への関心はかなり高く、参加者からは、他地区に出張できないかなどの質問が出ていました。

まちづくり協議会では、今後も地域に密着した取り組みを展開し、「地域づくり自慢」をもっと作りたいと考えています。

# たてこし

館腰地域まちづくり通信 16号  
[2016年9月15日発行]

発行: 館腰地域まちづくり協議会

事務局: 〒958-0292 新潟県村上市岩沢 5611 番地  
(村上市朝日支所 地域振興課内)

Tel.0254-72-6881 Fax.0254-72-0328

mail as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

Facebook や HP でも活動の様子を公開しています

Facebook <https://www.facebook.com/tatekoshi>

HP <http://www.city.murakami.lg.jp/site/tatekoshi/>



フェイスブックはじめました(^^)/是非見に来て「いいね」をお願いします(^^)



## 編集後記

リオオリンピックで盛り上がった熱い夏。特に団体戦でのメダルには感動しました。

今年消防団の小型ポンプ操法競技会でも長津チームが団結力を発揮して大活躍しました。私達まちづくり協議会もチームワークで館腰地域を盛り上げたいと思います。(中山 靖夫)





たてこし  
土域であった、あんだごど  
こんだごど  
ここでは館腰地域の活動や行事などの様子をご紹介します。



6/21  
(日)

### 大葉澤城と普濟寺散策

梅雨の時期での開催であり、雨を心配しましたが、当日は快晴にめぐまれ、保育園児、小学生、大人と総勢40名の皆さんに参加していただきました。大葉澤城保存会の高橋会長から説明を受けながら、城跡、畝方型塞の順に見学していききました。畝型阻塞（うねがたそさい）群から城跡を見上げると切り立った断崖の上には城跡があり、戦国時代のように戦ったのかと思いをはせました。普濟寺に着き、角一住職から、鮎川城主や戦国時代の話を聞きました。みんなで昼食のあと、子ども達は庭園を走り回っていました。今の子ども達は山で遊ぶことも少ないので、良い一日を過ごせたと思います。次回ももっと楽しい計画をしたいと思っております。（資源活用部会 吉村和昭）



### 研修視察で

## 田んぼアートを見てきた！

館腰地域まちづくり協議会では、役員13名で7月31日に、山形県米沢市で「田んぼアート」の取り組みを見学してきました。



↑真田幸村と上杉景勝の図柄がはっきりと出ています。

8/7  
(日)

### 軽トラ市を実施



8月7日、第11回軽トラ市を開催しました。軽トラ市は、地域の農産物や加工品を対面で購入できる場として皆様から親しまれていきます。前回7月3日に計画した軽トラ市は大雨のため中止となりましたが、今回は天候にも恵まれました。大勢の来場者で賑わいました。

また、ガラポン抽選会、スイカの種飛ばし大会は皆様に大いに喜ばれたことと思います。今回は出店者が少なかったように感じましたが、今後は民芸品やフリーマーケットなど新しい仲間が増えることを願っています。

（産業振興部会 佐藤平）



7月31日に協議会役員の研修視察（山形県米沢市）に行ってきました。

米沢市の田んぼアートは、平成18年から始まり、今年で11回目となり、地域活性化の起爆剤になればと始めたことなのです。田んぼアートの図柄は、米沢市にゆかりのある歴史上の人物をコンセプトにしています。現地では約3600㎡の田んぼに、展望台から見きれいな構図になるように遠近距離法を使いポイントを出します。その作業は20人で3日間ほどかかっているとのことでした。その後、一般参加者も募り田植えを行います。ポイント出しから田植えまでで約300人が事業に参加しているとのこと！見頃を迎えた夏になると、週末の金・土曜日にはライトアップも行っています。

秋には稲刈り体験、米沢まつりをを行い参加された方には実際に刈り取ったお米「つや姫」をプレゼントしているそうです。

当協議会でも農業が盛んという地域の特色を生かした取り組みとして「館腰田んぼアート」ができれば、住民の交流及び地域の活性化に結び付くのではないかと考え、今後、事業化に向けた検討をしていきたいと思っております。

### 参加者の声

地域おこしに魅力的な取組である。今後、館腰でも前向きに検討できたらと思います。（副会長 長谷川 康）

米沢市のアートを実際に見て素晴らしいと思いました。人が絶え間無く見に来るのを見て、継続してきた結果を見た気がします。（交流事業部会 高橋 文明）

種類の違う稲を田んぼに植え、稲が色違いで成長。田に巨大なキャンパスが完成していました。（産業振興部会 石栗 千恵子）

8/21  
(日)

### 伝統を受け継ぐ古渡路のしめ縄



8月28日のお神楽の前に、お宮さまのしめ縄づくりが行われました。今年は消防団員12名が朝の5時半から作業を開始し約4時間をかけて作り上げました。消防団員で最後まで作れるのは2人だけで、作り手が少ないときには5時間以上かかることも。今回が初めてだったという石田優樹さんは、「作業工程も多く大変だが、自分の子供にもやらせたいので伝統を引き継いでいきたい」とあつい思いを語ってくれました。

8/21  
(日)

### 第35回ジュニアスポーツ大会結果



選手宣誓した  
小川MKS 石栗幸太郎さん

小川小学校からは4～6年の各学年3チームが参加しました。各チームとも練習で培ったチームワークを発揮し頑張りました。

- Aブロック（4年生の部）  
準優勝 小川スターズ
- Bブロック（5年生、4～6年生の部）  
初戦敗退 小川MKS
- Cブロック（5～6年生、6年生の部）  
準優勝 小川13FIGHTERS  
ホームラン賞  
長谷部 圭亮さん（小川13FIGHTERS）